

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山県、高梁市	地域再生計画名	活力と魅力ある高梁まちづくり計画
計画期間	平成22年度～28年度	評価責任者	高梁市 産業経済部建設課長 大福範義		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	周辺地区と中心部までのアクセス改善（市道浅柄線）	50分	H21	-	-	45分	H29	45分	○	市道浅柄線の整備によりアクセス改善が図られ、備中町平川地区から市中心部への所要時間を短縮することができた。
	指標 2	周辺地区と中心部までのアクセス改善（市道渡雁線、上小瀬1号線）	30分	H21	-	-	25分	H30	22分	○	市道渡雁線及び市道上小瀬1号線の整備によりアクセス改善が図られ、成羽町日名地区から市中心部への所要時間を短縮することができた。
	指標 3	周辺地区と中心部までのアクセス改善（市道阿部川原線）	25分	H22	-	-	22分	H30	15分	○	市道阿部川原線の整備によりアクセス改善が図られ、落合町阿部地区から市中心部への所要時間を短縮することができた。
	指標 4	通行不都合箇所改善による中心部までのアクセス改善（市道甲平線、柳瀬線）	30分	H21	-	-	23分	H29	23分	○	市道甲平線については計画中止を余儀なくされたが、市道柳瀬線の整備によりアクセス改善が図られ、国道を利用するルートより時間短縮が図られた。
	指標 5	農林業の振興と地域環境の改善（間伐等実施面積）	5.0%	H21	-	-	6.0%	H26	6.5%	○	地域での間伐等実績が86.14haから91.75haに伸びるなど(6.5%)、森林整備が進んでいる。
	指標 6	農林業の振興と地域環境の改善（林道鈴木線、アクセス改善）	45分	H21	-	-	40分	H28	40分	○	法面改良により通行の安全が確保され、中心部まで最短ルートでの通行が可能となり、迂回路経由より5分の短縮が図られた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H）	最終実績						
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（L=4.99km）		4.99km	—	3.39km	平成28年度事業を繰り越し、平成29年度中に事業が完了した。市道整備事業費が計画当初の見込みより増額となったが、道路事業以外の主要事業も並行して実施していたため、市道甲平線については今計画での整備を見送った。それにより整備量は計画値より減少した。次期計画においては、事業開始前に概略設計を行い事業計画及び事業費見込みの精度を高めることで、計画的な改良及び予算の平準化を図る。					
	林道整備事業（L=1.68km）		1.68km	—	1.58km	工法の見直しにより整備量はやや減少したが、計画年度内に完了した。					
その他の事業	過疎対策道路改良事業 辺地地柵道路改良事業 小規模林道整備事業		市道改良事業や林道改良事業により、市内拠点施設等へのアクセス改善を図る。			高梁市総合計画に基づき、計画的な道路整備を行っている。今後も事業を継続していくことで、道路ネットワークの更なる強化が図られると期待される。					
	森林整備地域活動支援交付金事業		施業実施区域の明確化作業、歩道の整備等を支援し、施業、経営の集約化を図る			引き続き同事業で作業道の整備や集約化に向けた合意形成などの事業を行い、効率的で中長期にわたって適正な森林管理が維持されるよう事業を継続している。					
	公有林整備事業		森林組合等の除間伐施業を行い、森林の適正管理を図る			市有林の除間伐、新植などを継続的に施業し、森林資源の適正管理を継続している。					
	生活福祉バス運行事業 予約型乗合タクシー運行事業		地域の実情に即した新たな交通体系の確立を目指す			生活福祉バス20路線の設定、及び予約型乗合タクシーを6地域へ導入し交通体系の充実を図った。山間地域を中心に、今後も引き続き事業を継続する。併せて道路網の整備を行うことで、利便性の向上が期待される。					
	高梁市観光戦略アクションプラン推進事業		観光資源の再発掘と新たな観光ルートの設定及び魅力アップを目指し、誘客活動及び広域ネットワークの構築を図る			重点地区において着地型観光を推進するため、観光協会等関係団体と役割分担し、商品開発や情報発信、受け入れ体制の充実等に取り組んでいる。交流人口の増加、地域の賑わいの創出を目指し、次期地域再生計画においても引き続き観光戦略を進めていく。					
	有線テレビ運営事業		行政情報、緊急放送等を放送し、情報の共有化を図る			週ごとに情報を更新し、毎日放送することで情報共有を図っている。また、防災防犯など緊急情報はデータ放送を行うことで、迅速な情報提供を行っている。					
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	高梁市総合戦略有識者会議を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤事後評価の公表方法	高梁市産業経済部建設課及び農林課の公式ホームページに掲載。										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に実施し、生活道のアクセス改善を中心に、森林整備による自然環境の保全を目指してきたが、市道整備においては、市政等情勢の変更に伴い計画中止を余儀なくされた路線が発生した。しかしながら全体的には、住民の利便性の向上が図られ、日常生活車両や緊急車両等の安全かつスムーズな通行の確保ができつつあり、生活環境の向上、自然環境の保全等が図られたと認識している。										
⑦今後の方針等	道路整備においては整備困難な箇所がある路線はあるものの、おおむね計画どおり整備が進み、また山間部での森林整備の目標も達成された。今後は未整備となった箇所の事業推進が図れるよう引き続き調整を図っていきたくと考えている。次期計画においても住民の生活基盤や農業・観光振興基盤となる道路整備に取り組み、道路ネットワークを強化することで、定住対策や交流人口増加に寄与したいと考えている。今期計画の評価を踏まえ、次期計画においては、事業開始前に概略設計を行い事業計画及び事業費見込みの精度を高めることで、計画的な改良及び予算の平準化を図りたい。また、本市がスローガンとして掲げる「住んでよかった、住み続けたいまち高梁」の実現に向け、計画外で独自の事業にも取り組み、複数分野の横断的な施策展開を行いたい。										